

高原農業研究所

第1 基本方針

高原地域の農業は、広大な農地と草原の景観に代表される冷涼な自然条件を生かし、畜産、水稲、野菜を中心とした営農が行われている。

水稲では良食味米「コシヒカリ」を中心とした特別栽培米の生産が積極的に行われているが、近年では業務用米等の新たな需要が出現し、それに対応した最適品種の選定要望が高まっている。また、高齢化や担い手不足から農地の管理を生産法人等に委託する生産者も増えており、それに伴って土地利用効率化の観点から二毛作の栽培体系構築も要望が高い。

野菜では露地や施設において冷涼な気候を活かした多彩な品目が栽培され、夏期の重要な野菜供給基地となっているが、近年の地球温暖化による猛暑が施設夏秋野菜の収量や品質の低下を招いている。

高原農業研究所では、これらの課題を解決するために土地利用型作物の水稲、麦、大豆では、優良品種の選定や優良種子の安定供給及び実需者ニーズに応じた新品種の栽培技術、二毛作の作付体系技術の確立、生産法人の大豆低収要因の解明や生産性向上技術を確立する。また、イチゴやハウレンソウなどの野菜においては、安定多収のための栽培技術確立や高温対策技術を確立する。

第2 重要研究事項

1 くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定

水稲では、倒伏しやすく生産が不安定になりがちな「コシヒカリ」の欠点を補う新たな良食味品種を選定する。また、需要が高まっている業務用米では大麦との二毛作が可能な多収性品種を選定し、その栽培技術を確立する。

大麦では、低温害に強い栽培特性や品質に優れた品種の選定を行うとともに、もち性大麦の栽培技術を確立する。

大豆では、後作大麦の適期播種が可能となる品種の選定と作付体系を確立する。

2 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発

大豆では、収量が県平均より低収であるため、その原因を解明し、収量が安定して向上する生産技術を確立する。

イチゴでは、本県育成のイチゴ新品種「ゆうべに」の花芽分化が安定する育苗期施肥管理技術および高設栽培における安定栽培技術を確立する。

ハウレンソウでは、夏期高温期における発芽率の向上や生育を確保する生産技術を確立する。

3 中山間地における持続可能な農業

管理を委託された農地を効率的に活用して所得向上を図るため、一定の収益が期待できるサトイモについて子芋分離機等を活用した省力的、効率的な収穫調整作業体系を確立する。

第3 試験研究課題一覧

【高原農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
水田作	1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) 水稲等の優良品種の選定	727	県単	① 優良品種の選定（水稲、大麦、大豆） ③ 水稲の作況調査 ※②はR3で終了	S48～継続 S48～継続
		(2) 水稲品種育成にかかる特性検定	240	外部資金	① 穂いもち抵抗性検定試験	H26～継続
		(3) 主要農作物種子生産改善対策事業（再掲）	農産園芸課	令達	③ 水稲、麦類、大豆の原原種系統選抜及び原種審査 「農産園芸研究所、高原農業研究所」	S27～継続
		(4) 高冷地域における実需者ニーズに応じた品種の作付体系確立	970	県単	① 大麦後作における業務用米の栽培技術確立 ② 大豆及びソバ後作における大麦の栽培技術確立 ③ 後作大麦の適期播種を可能にする大豆有望品種の栽培技術の確立	R4～R5 R4～R6 R4～R6
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	新規 (1) 阿蘇地域における大豆低収要因の解析及び生産性向上技術の確立	1,497	県単	① 現地ほ場における低収要因の解明 ② 収量安定のための基礎的技術の実証 ③ 摘心技術導入による生産性向上技術確立	R5～R6 R6～R7 R5～R7
野菜	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) イチゴ「ゆうべに」の品種特性を最大限発揮させる生産技術の確立（再掲）	1,080	県単	① 花芽分化及び果実成熟条件の解析に基づく安定生産技術の確立 「野菜研究室、高原農業研究所、アグリシステム総合研究所」 ② 「ゆうべに」の高設栽培における環境制御技術を活用した安定生産技術の確立 「野菜研究室、高原農業研究所」	R5～R7 R5～R7
		(2) 中山間地におけるサトイモの面積拡大を可能にする省力栽培体系の確立	942	県単	① 収穫調整作業の省力化技術の検討 ② サトイモの省力栽培体系の確立	R3～R5 R4～R5
		(3) 夏秋ハウレンソウ栽培における高温対策技術の確立	1,215	県単	① 夏秋ハウレンソウにおける資材を活用した高温対策技術の確立 ② 高温期に対応したハウレンソウ品種の選定 ③ 昇温抑制技術を組み合わせた高温対策技術の確率	R4～R5 R4～R5 R5～R6

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

組替：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題